

（午前10時30分 再開）

○議長（小林 弘君）休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程に従い一般質問を行います。

順番9、12番 堀内君。

〔12番（堀内和久君）登壇〕

○12番（堀内和久君）皆さん、おはようございます。

私の順番が回って来たら傍聴席に誰もいなくなってしまうと、ちょっとおこぼれと言うたら失礼なんですけど、僕みたいなんも聞いてもらえるかなと思って休憩をしていたら、帰ってきたら誰もいませんでした。YouTubeで見てください。

12年間ずっと議員をやらせていただいて、12月議会で言っているんで、いつも流行語大賞という言葉を使います。私はサッカーより野球が好きなんです。でも、昨日は寝ずにサッカーを見て、やっぱりスポーツってええなって。一人ひとりパスをつないで、国のため、自分のため、ファンのため、一生懸命頑張っているというのがどのスポーツでも、どんな分野でも、やっぱり一生懸命というのは力をもらえるんで、今日の一般質問にエネルギーに変えさせていただきたいと。今年ホームランを日本人で56本打った村上選手、村神様、これが流行語の一番すごい言葉なんかなと。

当然、橋本市はいつもどおり金ない金ないというのだったんですけども、最近ほんまに聞かなくて、財政健全化が成功したと裏づけた根拠がここに一番あると思うんですね。最近、職員も偉い方たちも言わなくなって、何か事業、前向きなとか、予算・決算でも財政上がりの副市長が打って出るって。これが

僕の中で一番、副市長で裏づけた根拠を持っているとか、仕事ができる、職員のときもほんまに職員ナンバーワンプレーヤーがそのまま副市長になったんで、この人が言うたら重みがある。ということは、平木市長はビジョンを描いて夢を実現する。橋本市は、金ないからちょっと打って出れるところに来たんやなど。

確かに財政は裕福ではありません。現財政課長も金をつくるために一生懸命頑張ってくれとだと思います。ちょっとずつチーム橋本としてつぼみが花咲き始めた3期目、市民の負託を受けた平木市長が、次どんなふうに出るか。ちょっとプレッシャーを壇上でかけて、三つ目の答弁に寄与できればなどは思うんですが、それは私のずるいやり方であって、誠心誠意、私も市民の負託、味方は市民ですから、地域、自分のためにも橋本市をよくする、議会の同僚の皆さんと同じでございまして。職員の皆さまも同じでございまして。伊都郡で1番の橋本市、和歌山で1番の橋本市、日本で橋本市ここにありということをめざして質問をさせていただきます。

それでは、通告に従いまして、壇上から朗読をもって質問をさせていただきます。

一つ目、大阪・関西万博について。

2025年4月より開催される大阪・関西万博に対して、本市の対応とビジョンを伺います。

二つ目、保育士不足と労働環境について。

本市のこども園計画、幼・保一元化5カ年計画が十数年の時を経て、実行完了の終着が見えてきたと感じるようになってきました。あくまで民営化とこども園化がメインのように感じています。もちろん国の宝である子どもたちのソフトの面の配慮も努力を感じると

ころは多々あります。今回の問いは計画とは別に、そこで働く人の環境や人員が足りているかを伺います。また、国全体での賃金アップが言われる中での本市の保育士の賃金の推移と現状についても重ねてお伺いいたします。

三つ目。これは12年間ずっと僕が思い描いてきた、自分の生まれ育ったまちでの思いをはじめて議場で発する質問でございます。南海高野線橋本―紀伊清水区間の新鉄橋の提案についてでございます。あくまで提案でございます。

数年前の台風で南海高野線の鉄橋に危険性が出たことで、橋本駅から高野山方面に復旧完了まで臨時バスがたくさん出動したのは、まだ記憶に新しいと思います。本市は名前のおり橋が多いです。今回提案したいことは大きなお話で、当局は民間企業の話と言われるかも知れませんが、多くの市民や多くの観光客が利用し、ともに時間を過ごしてきたの今であります。今は鉄橋が老朽化し、コロナ禍でどこの企業も苦しいときであります。苦しいときほど知恵を絞り、老朽化にストップをかけて飛躍のチャンスのように考えたいと思います。

言いたいことは、新しい橋を架ける事業が仮にあるとして、共同で計画を持っていくこと。電車の鉄橋と上下、もしくはサイドスペースに道路も計画に盛り込む。そして、和歌山での水道橋破裂の記憶もあると思うんですけど、水道橋の水道の予備の管を準備。昔はこの紀の川でオリンピック金メダリストが泳ぎの練習をしていた川とかプールの位置づけであったと思います。橋の上の無人駅を設置で橋本市の知名度を上げ、観光戦略の向上を図れます。さらに利用者が増えて、上田向副地域、北側、河瀬地域の開通で、まちの活性化が間違いなく予測されます。夢のような提案についてでございますが、市の見解を

お伺いいたします。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君の質問項目1、大阪・関西万博に対する答弁を求めます。

経済推進部長。

〔経済推進部長（北岡慶久君）登壇〕

○経済推進部長（北岡慶久君）大阪・関西万博についてお答えします。

大阪・関西万博は、2025年4月13日から10月13日までの142日間、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、大阪夢洲にて開催されます。国連が掲げるSDGs達成の目標年である2030年まで残り5年となる2025年は、実現に向けた取組を加速するのに極めて重要な年であると位置づけ、2030年までにSDGsを達成するためのプラットフォームとして、持続可能な社会の体現をめざしています。大阪・関西万博は参加型万博として、万博の趣旨に賛同する自治体、企業、団体等の垣根を越え参画者を募る「TEAM EXPO 2025」プログラムがあり、本市も令和3年11月に和歌山県では初となる万博共創パートナーとして登録を行いました。

毛皮の代替品としても使用される地場産業のパイル織物や自然素材の高野竹を生かした国の伝統的工芸品の紀州へら竿、また、減農薬・減化学肥料で栽培される安全安心な高野山麓精進野菜は、この万博の取組であるSDGsの達成に寄与するものであると考えます。

また、万博のネットワークを活用し、環境に配慮して稲作する芋谷の棚田の米を共創パートナー同士である大阪府泉大津市の学校給食に納入しています。

本年2月に、大阪・関西万博連携シンポジウムとして「地産地消と高野山麓精進野菜【高野山の食文化に学ぶSDGs】」と題し、高野山麓農産物産地化協議会が主催、和歌山大学

観光学部の協力を得て、基調講演やパネルディスカッションを開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となりました。このシンポジウムについては、関係機関等と再度調整し実施したいと考えています。

また、本年4月29日に和歌山市で開催された「2025年大阪・関西万博機運醸成シンポジウム」に本市の商工担当及び農業担当職員が参加し、国際博覧会協会事務局から状況の説明を受けました。このシンポジウムにおいて、「2025年国際博覧会和歌山推進協議会」の設置が決定し、現在メール等により情報の提供を頂いている状況です。

現在の本市の具体的な取組としては、橋本商工会議所や高野口町商工会などと連携し、食の安全安心とSDGsに基づく地域循環型農業として取り組んでいる高野山麓精進野菜を多くの飲食店等で食材活用していただくよう協議を行っています。また、前述の紀州へら竿やパイル織物を活用したインバウンド向けの体験型の観光も進めています。紀州へら竿の釣り体験や中小企業が工場内部を公開するオープンファクトリーの実施により、多くの方が本市に訪れていただけるよう、橋本・伊都広域観光協議会とも連携を図りながら、観光客の誘致にも取り組んでいきます。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君、再質問ありますか。

12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）答弁ありがとうございます。万博に関して、あまり同僚議員というか元同僚議員がパートナーの話であったり熱のある話をしてくれたので、僕はそこまでその方向性で問うことはありません。橋本市として何をするのか聞きたいだけで、パートナーとか取組はすばらしいことで、答弁どおりちゃんと進んできていると。ただ、Xデーと

いうか開催の日にちが決まっている。それまでの準備。コロナ等々でいろんなことに障害がある中でのご尽力は感謝申し上げます。頑張ってください。

再質問が二つ、三つあるんですけども、こういったことに関して関連するところ、DMOの話をここで聞いていいのか、答えれば結構なんですけど、DMOとかも観光とか、こういうところが結構絡んどうと思うんですけども、経済部としてどんな指示を出しているのか。お願いいたします。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）まず和歌山県としては、いかに和歌山県に観光客を誘致するのか、関係機関と協議を行っています。和歌山県観光連盟も新たに参加した県下DMO会議を結成して、本市のDMOも参加しているところです。

本市DMOについてはその準備として、観光客の多くが訪れる大阪市内の商店街等と、農産物だけではなくて産業製品も含んだ本市らしい特産品を紹介できるアンテナショップの設置に向けて調整しています。市としてもしっかりそこを支えていきたいと、そんなふうに考えています。より充実した、壇上でも少し触れさせていただいたんですが、この地域で体験できるプロモーションツアーをしっかりと確保して、なおかつ飲食店等の利用も含め、いかに滞在時間を長くして延長できる仕組み、お金を落としていただく仕組みについて、本当にDMOに任せ切るんじゃないくて行政もしっかりと関わって、多くの観光客を受け入れることができるように準備したいというふうに思います。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）経済部長は真摯なので関わりとか協議ってなるんですけど、僕は指示でいいと思います。やっぱりお金を産んで

くれやんと、地方創生、産業振興基金、この辺をお渡しして維持していただいとる。コロナもあっていろんなことが、社会情勢が変わってきたら、自分のところの売上げは自分のところで稼ぐということを今のうちに徹底していただきたい。これは要望です。これは僕の一意見なので。ただ、やっぱりいつまでも公金を入れて運営していくわけにもいかんと。ある程度抑えていただかなあかん。職員も2人、3人って行っていますし、その辺はしっかり指示していただきたい。稼ぐ力をつけるように指示していただきたい。

次の質問なんですけども、やっぱり伝統とか歴史というパイルとへら竿になってくると思うんですけど、この辺の協議はいかがですか。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）壇上でもお答えさせていただいた、まずオープンファクトリーについては、紀州繊維組合とも協議を始めています。万博の会場だけではなくて、万博の会場を通してやっぱり和歌山に来て実際、工場の見学をしたい、それから、へら竿の体験をしたいとか、そういったところにつながる事が非常に大事だと思いますので、そういった調整に向け準備をしているところです。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。答弁イコール実行であれば間違いはないと思います。ありがとうございます。

1個だけ悲しいというか、今議会でもいろいろ同僚議員の質問であった高野山麓精進野菜って、これを否定するわけじゃないです。農業振興条例とも絡んでくると思うんですけど、これを万博で聞くのは筋違いなんかもしれないんですけど、そもそも論の話じゃなくて、立ち上げて1年や2年のブランド野菜の格まで行ってない。生産者がまだ利益も産ん

でない。地域としても全然ネームバリューもない。多分、小学生に言うても高野山麓精進野菜って何でって。まだはしもとオムレツのほう知名度は高いと思います。食べれるところは少ないかもしれませんが。こういった地元のシェアとか県内シェアとか知名度がないものを万博の材料に使わなあかん本市のセンスが寂しい。だから、高野山麓精進野菜って、万博まであと2年やそこらで、そこまで飛躍的に活性化して、橋本市といえば、和歌山県といえばという、世界ですよ。この辺の万博とちゃうんですわ。県の万博と言うたら言い方が悪いんですけど、県の展示会とか近畿の発表会やったら、こんな取組をしていますというのはありやと思うんですけど、すいません、あえて言います。この程度のものを万博にこうするというビジョンというのはいかがなものかと思うんですけど、いかがですか。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）高野山麓精進野菜、それから産地化協議会を取り組む中で、2025年というのを一つのゴールとして取り組んできたという経過があります。議員が言われるような確かに心配というのか、昨日の3番議員の議論の中でもあったと思うんですが、しっかりと取り組んでいって、先ほど議員が言われた日本で橋本市ここにありという、そういったところ、橋本市に高野山麓精進野菜があるんだと一つでも、1人でも多く認知されるようにしっかりと取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいというふうに思います。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）それは協議会と市のセンスのことなので、民主主義において僕がとやかく言うことではありませんが、私個人、一議員としては反対ですね。この程度のものを、市ブランドと言われるまでの成長をして

ないものを果たして出していいものか。オムレツの二の舞になっちゃいます。間違いなくなっちゃいます。発表するだけしといて、高野山麓精進野菜がどこ行ったんって。観光客が来てくれて、高野精進野菜ってあったっけって。諸外国のVIPの方が来てくれて、高野精進野菜を食わしてよって飲食へ行って、ありません。こんな不細工な話はありませんよ、はっきり言うて。

やりたかったらやったらええ。そやけどその責任ってついてくる。しっかり担当課にその辺を言うといってもらわんと、ほんまにこの程度でやられてしもたら、協議会の人を否定しとるわけとちゃうんですよ。そもそも論、高野山麓精進野菜の、僕は農振条例において、これをする事で作とる人たちがもうかって、作とる人たちのためにこの辺が潤わんと、まずあかんですわ。だから、それイコール万博で、資源がないんやったらパイルとへらで十分じゃないですか。はたごんぼやマッシュルームのほうが数段上にいますよ、はっきり言うて。歴史がありますし、尽力やっていますし、数をシェアできますし。だから、否定的なことを言うて悪いですけど、やるんやったら徹底的に未来に対して責任を持っていただきたい。今オムレツもそんな状態やと思うんです、経済部に関しては。人が足らんのは分かるけども、その辺はきっちり精査していただきたいと思います。答弁があったら、どうぞ。それで終わります。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

○経済推進部長（北岡慶久君）私、個人的なことを言わせていただきますと、長い公務員の生活というのが来年度、部長として最後の年になるかと思えます。どこの部署に配属されるかは現状分かりませんが、もし経済推進部の中においてそういった機会を与えられるのであれば、しっかりと、本当に働いてよか

ったなど、こういうことを取り組んでよかったなと思えるように腰を入れて頑張りたいと思いますので、どうぞこれからもご指導いただきたいと思います。

○議長（小林 弘君）次に、質問項目2、保育士不足と労働環境に対する答弁を求めます。副市長。

〔副市長（小原秀紀君）登壇〕

○副市長（小原秀紀君）保育士不足と労働環境についてお答えします。

保育士不足については、全国的に課題となっている問題であります。本市においても同様で、各園とも保育士等の確保には懸命に努めているところです。

例年、本市は、民営保育所・こども園へ児童福祉法に基づく実地指導及び子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設への確認指導等を行っており、各園ともに保育士数については国の配置基準は守られていることを確認しています。

しかしながら、各園では発達支援など個別の配慮が必要な園児への対応や職員の福利厚生への対応、病気やけが等の突発的な対応、キャリアアップ研修等への参加に伴う対応などがあり、これらを鑑みると職員のシフト管理を含め、ゆとりある保育士数の確保とまでは至っていないと感じています。

次に、保育士の労働環境について、まず議員おただしの保育士の賃金の推移と現状ですが、民営園については国による保育士等への処遇改善の実施により、保育所、認定こども園における保育士等への賃金面の処遇改善が行われています。保育の経験年数やキャリアアップへの取組、そして、昨年度から新たに始まった教育・保育現場で働く方々の継続的な賃上げの取組を前提とした収入の3%程度を引き上げる措置といった三つの処遇改善等の加算により、各運営法人において処遇改善

が行われています。園の運営法人にもよりますが、平成29年度から令和3年度の5年間にかけて、年収ベースで10%以上の賃金面の処遇改善が行われた職員もいるところです。

また、保育業務に係る環境改善の一つとしては、国の補助金を活用し、保育所・認定こども園への保育ICTシステムの導入による業務効率化を推奨しています。少しでも業務の効率化を図れるよう、保育士等が保育に専念できる取組を後押ししているところです。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君、再質問ありますか。

12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）思いを分かっていただいたのようなお話であると解釈しました。働き方改革と賃金アップというのはどこの業種でもあるんですけど、今回は保育士だけに絞っていくんですけど、やっぱり保育士があまりにも不足しててかわいそうというのをすごく思っちゃいました。その中で、こども課長、現場の率先した方が今日たまたまここにおられるので、これもラッキーな話。ワンクッション部長を挟まんと、こども課長の生の意見を聞けるんでありがたいと本当に思っています。次の予行演習にもなりますし。

答弁で言うてくれとる、そこまで思ってくれとるんやったら、保育士不足を感じてもうとるんであれば、市の何か対策というのはちゃんと考えているんですか。

○議長（小林 弘君）こども課長。

○こども課長（岡 一行君）お答えいたします。

あくまで当初予算の要求の段階でということでご承知いただきたいんですけども、令和5年度より保育士の確保対策といたしまして、新規採用者の賃金の上乗せの補助制度を考えております。対象は、市内の民営園の保育園やこども園に就業する新規の保育士で、

資格取得3年以内の常勤の保育士に対しまして上限月2万円。この2万円というのは、本市と運営法人が1万円ずつ出し合って給付するというものでございます。まだ市長査定を終わっておりませんので、真後ろで言うてよかったのかなと半分思っているんですけども、3月議会でご審議を頂いて、予算化をもしされれば、民営園のほうに積極的に働きかけていきたいと考えております。

以上です。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）議員の皆さま、今ご承知のとおり、上がってきたら議決のほうよろしくお願いいたします。

どんな形でもいいんです。要は賃金アップと環境を変えるということを進めないと、以下の質問にもあるんですけど、やっぱり保育士の資格を持つとる人でしてない人がいっぱいおると。昨日たまたまニュースを見ていたらちょっとしんどい事件というか、ありましたよね。その人たちも人間が悪いわけじゃなくて、ひよっとしたら何かしんどいことやストレスがあって当たってしまった。子どもを最初からDV、虐待したろうという保育士なんか、この世の中には存在しないと思います。やっぱりちょっとストレスがあったのかな、子どもが泣きまくったからやってしまったのかなというふうに、僕はその環境が分からないんであれなんですけど、あくまで自分の立ち位置からすると行政に提案して、そういう環境を整える提案をするだけで、現場はこども課長を筆頭に、園長、保育士の皆さん、その方たちを守っていったれるのは市長だけなのかなって。民営といえども市の指導の下にあるものですから、その辺は助けていただきたいと思います。

金額が具体的に出たんですけど、この辺は臨機応変に、今は取りあえずスタートライン

はこれでいいと思います。先にカンニングで市長に言っちゃったんで、またその辺は内部で協議していただきたいと思います。これが妥当な金額かどうかは正直現場では分からないので、その調査もやっぱりしていただきたいと。

次に移ります。保育士不足の要因として、結婚、出産で今言うた資格を持つとりながらなんですけども、当然、女性が多い可能性が高いですから、自分の子どもが子育てで小学校から帰ってくる時間帯とか、いろいろあると思うんですけど、非正規とかパートの時間給とか、現場復帰に踏み切れない理由というのがあると思うんですけど、その辺についての市の見解とか認識はいかがですか。

○議長（小林 弘君）こども課長。

○こども課長（岡 一行君）お答えいたします。

現状そのとおりでございまして、保育士の資格を有しながら、潜在保育士というのは市内にもたくさんいると思われまます。結婚をして子どもを授かり母になりますと、保育士であるがゆえに自分の子どもは自分で育てたい。特に乳幼児期はそうです。そういう思いが強いので、復職しますと保育業務のハードな部分を知っているだけに、一度現場を離れてしまうと、ぶっちゃけ主婦を経験してしまますと、正規やフルタイムで復帰するというのはしんどい状況であります。本市としてもこの状況は認識してございます。

以上です。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）そうやってきたら、給料の待遇とか時給アップとか、目を引くとか理由づけとなる根拠のあれが出てくると思うんです。正規の保育士と同等の保育ができて非正規の保育士もたくさんいる中で、

処遇面に差を感じながらも民営園は取り組んでいる。保育士を応援できる支援策というのが、市はどう考えているのかなというのを伺いたいんですけど、いかがですか。

○議長（小林 弘君）こども課長。

○こども課長（岡 一行君）お答え申し上げます。

保育士等への処遇改善制度の実施によりまして、徐々にではありますが給与面の増額が各園の保育士に行われております。費用負担としまして、市も4分の1を投じております。処遇改善には大きく3種類ある中で、非正規の保育士にも適用できる場所がありますので、各園には単なる一律給付ではなく、貢献度や評価に応じた処遇改善に取り組んでいただきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）そこまで考えてくれるんやったら、今回割とバトルすることなくスムーズやと思うんですけど、前向きなご答弁ありがとうございます。

そこで提案なんですけど、市民病院も看護師の関連でよくやっている、予算にも載っているんですけども、処遇改善と現場復帰の観点から賃金の今、話でした。これから若い人とか、保育士にもっとなってもらいたいという観点からお伺いたします。市民病院のように先に言っちゃったんですけど、学費の援助、奨学金。やるわけじゃないんです。奨学金なので返してもらおうとか、何%まで返してもらおうとか、市民病院をまねて言うたほうが答えやすいと思うんですけども、そういう制度を設けるといふ、学生に対して、いかがですか。

○議長（小林 弘君）こども課長。

○こども課長（岡 一行君）お答え申し上げます。

まず、ご提案ありがとうございます。子どもの保育に魅力を感じまして保育士の資格取得に頑張っている学生さんを応援したいという気持ちは我々にもあります。ですが、直接的な学費援助の制度化は、現状としましては正直、難しいと考えます。理由を申し上げます。その場合、橋本市内の保育園やこども園に就職するということが前提条件になると思うんですけども、仮に市外の保育園に就職された場合、せっかく保育士となって頑張っている保育士に、さきに払った学費を返してくださいということが想定されます。もしくは、せっかく頑張って保育実習を受けたとしても、もし採用されなかった場合は、同じように学費を返してもらおうということも想定されますので、保育士になられている方は橋本市内でお住みであっても市外で頑張る方もいらっしゃると思いますので、ちょっと現状としては制度化は難しいかなというふうに考えております。

以上です。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）次の提案その2なんですけど、今、課長がおっしゃることはごもっともでございます。まずは、地元のところに就職しなかったら返してもらおう。全額返してもらおう。ローンでもええ、返してもらおう。ほんで、違う職種に就いたら当然返してもらおう。橋本市内に就職ってなったら奨学金の制度が当てはまる。でも、定員オーバーとか、うれしい話になると思うんですけども、年間3人とか5人とか枠を設けたらいいんじゃないかなというふうにちょっと思っちゃうんですけど、なかなかすり合わせにない質問をしたら具合が悪いですね。だから、そういうことも考えてほしいなと思うんですよ。ルールをつくるということもやっぱり職員のお仕事なんかなと思うんですけど、その点についての

検討というのはしていただけますでしょうか。

○議長（小林 弘君）こども課長。

○こども課長（岡 一行君）検討はいたしません。ここでは申し上げることができないんですけども、担当課としまして内部でいろいろ考えていることがございます。県の貸付制度もございますので、そういった部分で重複しないところで何かできることがないかというところは考えていきたいと思っております。

以上です。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）もう一個提案なんですけど、廃校プロジェクトとか本市の空いた館を使って学校とかを誘致するとか、そういうふうな検討はどうなんかな。例えば保育士だけやったら数もあれなんで、いろんな企業、学校を誘致する中で、保育士、介護士、この辺の専門専修学校というのをつくったら、単位を取るのに実習ってあるので保育園現場に行ける。触れることができる。そういうのはどうでしょう。検討とかしていただけますでしょうか。

○議長（小林 弘君）市長。

〔市長（平木哲朗君）登壇〕

○市長（平木哲朗君）堀内議員の質問にお答えをします。

学校をつくるということは大変な作業で、高野山大学でさえ、大阪千代田の短大の空いている校舎を使って教育学科をつくりました。実際に新しい学校をつくることに対して文科省がそれを許可するかという、大学誘致にはその辺の問題があつてなかなか難しいと思いますし、先ほども課長は検討するとか言うていましたけど、医大でも地域枠ってあるんですけど、あの地域枠ですら、別に和歌山県内で働くことは人権上許されないんですよ。そういういろんな問題があるので、保育士不足については私も何とかせなあかんと思う反

面、学校までつくってやるということは、なかなか来てもらえる大学も少ないのかなというふうに思います。

逆に臨時とか、そういう人たちの場合、扶養に入っている方が多いのでやっぱり税金の壁があって、逆に上げ過ぎると働いてもらえる日数が減るといって、全ての人に当てはまらないんですけど、扶養に入っているとそういう問題もありますので、今後、状況を見ながら、制度もこども課と協議しながら進めていけたらなど。岡課長は非常にうまいので、まさに予算をつけろという無言の圧力を私にかけてきましたから、その辺も含めて検討はさせてもらいます。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）岡課長、ありがとうございます。上手にしてくれとるので、検討して出ているのでありがとうございます。

教育長にお伺いするんですけど、やっぱり根本的な観点の認識の確認なんですけど、学校現場、義務教育の教員も、こども園化してると言いはおかしんですけど、幼稚園教諭も保育士も、我々普通のおっちゃんからしたら同じぐらい大切な人やと思うんです。給料の格差ってどえらいあると思うんです。官民もあると思うんですけど。その点について何かご意見を頂戴できたらと思うんですけど、いかがですか。

○議長（小林 弘君）教育長。

○教育長（今田 実君）給与の面ということですけども、そのところはなかなか私の立場で話をすることは難しいかなと、そんなふうに思っております。市立小・中学校に勤める教員につきましては任命権者が県教育委員会、そこで決められた給与に基づいて国、それと県とから給与というのは支払われておりますので、そのところにタッチすることはできません。そして、市の非常勤講師、支

援員については市の単独事業として行っておりますので、そのところについてはそういう制度をつくった時点ではかなり安い報酬の中で働いていただいていたんですが、今では少しずつではありますが改善をしていただいているところです。こういった給与の問題というのは、先ほどからご指摘があるように、働くことについて大事な要素になることは間違いないんですけども、私としてはそのところに立ち入ることができないところがあるというのは理解していただきたいなど、そんなふうに思います。

その一方で、やっぱり教員というのはいいなというのを感じてもらえること、なかなか今、社会的には難しい部分もあるんですけども、そういったことを広めていくことというのは取り組んでまいりたいなど、そんなふうに思っております。

以上です。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）ありがとうございます。僕が言いたいのは、どっちも同じぐらい大事で、教育の現場におられる方も必死ですし、まして、ゼロ、1、2歳を見とる保育士もほんまにいつ何どき何があるかわからへんという緊張感と、やっぱり怖いこともあると思います。同じぐらい大事な育むというか、育てるというか、その辺の現場というのは平等であるべきやと思うんで、給料にも反映できればというのが僕の今回の一般質問の趣旨。今回は割と真っすぐ行つとるので、給料がちょっと上がるであろうというのが期待できるので、この辺で終わらせてもらおうと思うんですけど。

最後に、子どもの成長に、小学校へつなげるまでの期間というのがこども園であります。大事な時期です。中でも2、3歳児の保育を手厚くするというのが一番の考え、次につな

げるための愛情の一番大事なところやと思うんですけど、その辺についての市の見解というかこども課長の見解を聞いて、二つ目の質問を終わります。

○議長（小林 弘君）こども課長。

○こども課長（岡 一行君）お答えいたします。

3歳児は愛情が芽生えて、身の回りのことも興味を持つ、そういうときでございまして、言葉の数も増えて集団生活を身につける第1段階になります。この3歳児につきましては各園、保育理念に基づきまして、担任を含めてご尽力いただいておりますけども、保育士の配置基準が実は国の基準で20対1、これは子ども20に対して保育士1という意味なんですけど、これを園独自で15対1にしているところについては、いわゆる公定価格、子ども一人当たりの1カ月の給付単価に加算があります。ですので、この加算認定も担当課において行っておりますので、3歳児保育を充実させていただきたいと考えております。

以上です。

○議長（小林 弘君）次に、質問項目3、南海高野線橋本—紀伊清水間の新鉄橋の提案に対する答弁を求めます。

総合政策部長。

〔総合政策部長（土井加奈子君）登壇〕

○総合政策部長（土井加奈子君）南海高野線橋本—紀伊清水区間の新鉄橋の提案についてお答えします。

市域の中央部を紀の川が東西に流れる橋本市において、橋は南北を結ぶ重要なインフラです。

現在、恋野橋、橋本橋、橋本高野橋、岸上橋、九度山橋、高野参詣大橋の6橋、鉄道として南海高野線紀の川橋梁が1橋あり、人や物の移動等日常生活にはなくてはならない役割を担っています。今ある橋を今後も安全安

心に継続利用できるよう、それぞれの所管において適正な維持管理に努めることが重要です。

道路と鉄橋を一体とした新鉄橋は、大変夢のある提案ではありますが、現時点で事業化の構想はありません。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君、再質問ありますか。

12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）過去最高の答弁です。ありがとうございます。短くて、さっぱりしてて、回りくどくなくて、しませんと、構想はありませんと。

じゃ、伺います。橋本市はそしたら、平木市長が8年、2期していただいて、財政健全化でちょっと打って出れるかもしれへんって。さっき大層に言いましたけど、実際は無理なのは分かっています。副市長が地に足を付けて職員と市民、ちゃんと配置して業をなしていってくれるというのは分かっております。そしたら、夢のような構想がないというんやったら、この8年で、コロナが終わったらこんなことをしようとか、橋本市はこうしようというビジョン、政策企画課の中で何か大きい夢はあるんですか。長計にうととるところでもかめへん。市民のためにとか、橋本市を売り出すために、こんなちまちましたものと違って、どかんと一発あるんですか。お伺いします。

○議長（小林 弘君）総合政策部長。

○総合政策部長（土井加奈子君）夢というふうに言うていただいたと思うんですけども、私のこの仕事の立場からすると、夢を語るというよりも、やはり地に足を付けて施策を続けていくことが私の職務だと思っております。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）そしたら、市長はよくいろんな会議の場で職員に、「おまえら考えれ、

考えれ、考えれ、仕事の仕方を考えれ」というのは公務員として当然です。職員課を筆頭にやっていたらいいと思います。でも、仕事の中でもいろんなことを提案してこいって、市長はおっしゃいますよね。ほんなら、その中には若い職員、中堅職員で、僕みたいなこんなあほな話って言われるかもしれませんが、当時、先輩議員が議場でアニメ誘致とかガンダムの話をしました。「鼻で笑った」と聞きました。僕はそのとき議員じゃなかったんで。でも、結果はどうか。企画立案してくる職員がおるのではないですか。ちゃんと若い意見、10年後の橋本市はこんなことになるんじゃないかな、高野山、九度山観光ですごい人が入って、どうやってお金を落としてもらおうか。DMOまで立ち上げて、へらとパイルに頼っている。あと、ちまちまちまちまという言い方をせざるを得ない。オムレツもどないな。これから高野山麓精進野菜って。点と点は線にならないですよ。やっぱり一発って言うたらおかしいですけど。

花火でもそうです。第何十何回紀の川祭というのは、それは平木市長じゃないですけど、前市長のときにやめて、やっぱりサマーボールって復活して、また近々当初予算であるんじゃないかという議論をこれからまたしたらいいと思うんです。そしたら僕のこの提案というのは、例えば区長会とかいろいろところからこういう夢のビジョンの要望が来たら、考えてくれるんじゃないですか。僕のやつも橋本市の橋といたらかけがえのないもので、これをすることで、これを考えることで何か次の手を打てんのかなとか、そういうことを聞いてるんですよ。

建設部長にお伺いするんですけども、やけどさしてすいません。もし仮に橋1本を架けるとなったら、予算ってどれぐらい要るんですか。

○議長（小林 弘君）建設部長。

○建設部長（西前克彦君）直近で県が施工された、令和2年に供用開始された恋野橋の例からいいますと、恋野橋の橋長は173mありまして、橋梁に係る事業費は約17億円と聞いております。1m当たりの施工費に直しますと980万円、約1,000万円かかることとなります。この南海高野線の紀の川橋梁の延長が二百数十mと聞いておりますので、単純に1m当たりの単価を掛けますと、21億円を超えてくるのかな。鉄橋も併せて架けるといような構想のお話がありましたので、鉄橋の事業費は把握しておりませんが同様の事業費がかかると思いますと、道路橋と鉄道橋を合わせますと40億円を超えてくるのではないかと推測いたします。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）すごい額です。財政課長、こんな金はないですよ。

○議長（小林 弘君）財政課長。

○財政課長（三浦康広君）ご質問にお答えします。

単年度もしくは数年での40億円という支出につきましては、なかなか厳しいものであるというふうには認識しております。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）だから、やっぱり政治ってあると思うんです。平木市長はあのこと、このことって福祉とか、先ほどの先輩議員の質問をしとっても必要なところにはお金を講じてこられた。これは必要かと言われたら確かにそうじゃないかもしれない。でも、壇上で言わせてもらったとおり、大きな台風が来るたびにあの橋がどうやとか、私は46歳ですけど、私が生まれる前からある橋ですね。ずっと維持管理して、伝統とか古きよきものを残せという声を持っている方からはお叱りを受けるかもしれませんが、シティーをセール

スするというぐらい大きな話をしとるんやったら、橋本市のビジョンを描く前に、橋本市にはこれとこれとこれがあるんだというのは地域全部、橋本市民全部、橋本市といえどいけば何個か出てくるようなまちであるべきやと思うんです。だから、DMOが機能すると思うんです。

そのためには別に橋じゃなくてもいいんです。今回、橋が否定されとるからこんな質問をしとると違って、平木さんの2期目、財政健全化で頑張ったじゃないですか。次打って出ると言うたら、今まで止めとったところにもう一回再分配するわよというか、そんな政策じゃなくて、そこにはある程度していかなあかん。その間に整理して、次、コロナが明けたらどんなことをするのかなという、僕のこの提案じゃなくても何か夢を語っていただけへんかなって。それに、よっしゃ、ついて行こうやないかという職員が部課長であるべきやということを今回の質問を通して言いたかったんですよ。

だから考えてほしい。考えた結果、ないんやったら、これが橋本市の負担はどれぐらいでできるか。南海に1回話を持っていくとか、南海も絶対に鉄橋というのはいずれ、5年に1回ぐらい、今もやっていますわ、補強しとるんです。だから、橋本市はなんばまで40分、50分つうととるベッドタウンのまちです。でも、橋本市から高野山まで何分って別にうたっているわけじゃない。ひよっとしたら九度山町の勢いやったら、九度山駅に特急が止まるかもしれへん。河南に力を入れていってくれとおっしゃったので、河南の資源を最大限生かす方法を必死で考えた結果が、私のこれなんですよ。だから、政策というのは地に足がついとかなあかんんですけど、夢以外でそれに近づいていく努力というのは多分、平木市長しかできないんですね。だから、1回

これ、価格高騰しとるんで建設部長の試算が42億。価格高騰しとるしコロナもあった。ガソリンが上がると。人件費を上げていこう。これ、多分60億ぐらいの試算やと思います。ひよっとしたらまた何かしらってなると思うんで。

この間、京都の保津峡へ行ってきたんです、家内と2人で。無人駅で下が川、紀の川と同じような感じです。無人駅があって、すごく人でにぎわとるんです。失礼ですけど、何もなくて人に人が来るんです。それを見て。それを見たときに先輩議員のガンダムの話、連れて行ってもらったんですよ。こういうことが政策の夢のビジョンであるべきなんかなと思うんですよ。多分、これは無理や、あれは無理やってなると思うんやけど、一回、平木市長の実はこんなことをやりたいたいと思とるとというのが僕以外にあるんやったら教えてほしいし、こういった政策の一般質問というのは僕は初めてなので、次どう質問していいか分からんですけど、何かご意見を頂けたら。よろしいでしょうか。

○議長（小林 弘君）市長。

〔市長（平木哲朗君）登壇〕

○市長（平木哲朗君）堀内議員の質問にお答えをします。

なかなかここで言うてしまうと勝手に走ってしまうんで難しいんです。まず橋本市の少子高齢化という問題の中でこれから考えていかなあかんのは、予算配分の仕方をどう考えていくんか。これからやはり福祉のほうに相当お金がかかります。そういう問題もありますし、老朽化した施設の整備というのも、確かに財政は副市長を中心とした皆さんのおかげで改善をしました。ただ、これから要るお金をどう維持をしていながら財政運営をしていくか。やっぱり高度成長期じゃないので、一つやり方を間違えるとたちまち財政が厳し

くなるというのが現状かなと。なかなか税収が増えてくる根拠が、多分、企業誘致で増えたお金は福祉でどんどんどんどん行ってしまって、なかなかそういう面もあるのかなというふうに思っています。

今、デジタル化に関しては若手職員を中心に、将来のために職員としてどうしていくかということを考えていきたいと思いますし、実は振興局からも、これから伊都振興局の建設部の予算が減りそうなので新事業を考えてくれという話は頂いているんですけども、その辺の財政とのバランスであったり、そういうところも十分加味をしながら、どういうまちをこれからの橋本市ってつくっていくかという議論を、やっぱりもっと子どもにも高齢者にも優しいまちをつくっていくのか、あるいは堀内議員が言われたように観光で人を呼び込んできて、そういう交流人口を増やしていく施策を進めていくのかということが非常に難しいかなと今思っています。

交流人口でお金はあまり、これは行政マンの自己満足だけで、100万人来たよ、でも経済効果はどうやったと聞いたらなかなか数値が出てくえへんので、そういう問題もある中で、とにかく今、はぐくむ条例であったり第2層の支援協議体をつくったりして、市民に対する行政サービスの充実というところで、今後、SDGsの交付金もつくりましたから、そこに対してどういうお金をつぎ込んでいきながらその事業を安定させていくか。誰一人取り残さないということを言っていますので、そういうところに対して人的投資をどうしていくか。将来的な投資、ハード的なことをこれからどうしていくかというのは、これからもう少し内部で、やっぱり起債を発行し過ぎるとまた大変な、何かやろうとしたら起債頼りになって、5年間ぐらいはいいんです

けどそこから先が苦しくなるという現実もありますので、そういうことも含めて、これからは今、私が部長に言うているのは、君らは部長になって何がやりたいのよ、部長として何をやっていくんかという話をするんですけど、あまりええ回答は返ってこない。落第点もいてましたんで、今後そういうふうに、これからどういうふうにやっていくんか、職員の目線から見ながら、市民の話も聞きながら、そういう新しいまちづくりをどうしていくか。ハードが果たして全てなんかなという気もしてて、今非常にお金をつけていっているんで、その運営をどうしていくんかということもいろいろ考えながら、当然、老朽化施設をこれからどうするんやと、学校をどうやって統合していくんやとか、いろんな課題を抱えていますので、その中でもし自分の頭の中でこれをやろうと決めたら、また積極的に市民の皆さんにも、議会の皆さんにもお伝えをしていけたらなというふうに思っています。まだまだ財政的にはそんなに余裕があるわけではないので、その辺のことも考えながら、財政と相談しながら新しい構想というのも、それが人的支援になるんか、ハード的なものになるんかというのは今後の財政運営次第かなというふうに思っていますので、ご理解をお願いします。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）お気持ち、ありがとうございます。よく分かります。僕の言うことも、むちゃを言うのもよく分かります。ただ、行政マンは行政マンで地に足をついた行政をやってくれとる方向性に、土井部長を筆頭に行っとるのは感じます。職員の感じもよくなってきとるの分かります。前が悪かったと言ってないですよ。今よくなっとる。風通しもいいです。市長室にも入れてくれます。いいと思います。ただ、やっぱり平

木さんの夢をばんと、市職員誰が聞いても、橋本市はこれに今、力を入れとるでというのがめり張りがついてないというのは感じるんです。この一般質問をしたら、今日だけ勘違いをしとるのは僕だけかもわからないですけど、土井部長、北岡部長、財政課長、このラインはよく目が合うんですけど、今日は目がぎらぎらしていますよ。市長がさっき部長に聞いたら何をしたいと言うてこいと言ったら、橋を造りたいって経済部長は言うてくれますかって、答弁はできないですよ。そういうことなんです。夢を語って怒る市長と違うでしょう。それはちょっとなって、根拠を持ってこいと言うてくれたら持っていったらええし、財政課長やったら多分5億や10億、どないか算出してくれると。僕は歴代の財政課長に言っとるんで、今の財政課長だけとちゃうんで。

最後になるんですけど、このビジョンを60億、周辺整備を入れてもうちょっと70億ぐらいのビジョンとして考えてほしいのは、これは検討するとかの言葉は言えないと思うんですけど、心に思っただけでほしいのは、60億をキャッシュで、起債で借金で市が払うわけじゃないです。新しい知事も誕生しました。今、コロナや価格高騰いろいろあるけども、国のお金の再度の分配、成長戦略、エネルギーからの各自自治体がどう主張していくかという、橋本市ここにありというのはまずそこ。市長が唯一、総理総裁に対して、内閣に対して、官僚に対して言えるのは市長だけです。僕らの力ではついていっとるだけで言えません。

そこに打って出るというのはそういうことで、何を言いたいのかというのは60億、70億、市じゃないと、補助金を探そうぜという財政課長の仕事やと思うんです。今あるんかないんかちょっと勉強不足ですけど、国家戦略特区とか国土強靱化。ほんで、南海がやっば

り今、客が減つとるからじゃない。でも、南海とともに橋本市は生きてきたんじゃないですか。成長してきたんじゃないですか。しんどいとき手を差し伸べる提案をして、ピンチをチャンスにすると。ほんで、その橋を架けるのに何年かに1回修理するんやったら、一回こういう話を試算しませんかとか。そこから次の考え方って変わると思うんです。駄目なら引いたらいいと思うんです、人件費がもったいないんで。テーマに向かって根性を入れたら、問合せとかいろんな協議というのは比較的できると思うんです。どこかで線も引けると思うんです。だからその辺をすごい考えていただきたいと。県費も出してくれ。あれは国道やし橋を架けたら県道になるしとか、市の負担が1割、2割やったらやりませんかという話をもう一回、僕は一般質問をしたいと思うんですけどね。こういう試算とか僕は苦手やし、そろそろ次の継続審議もあるんで、次ここに戻ってこれるかも分かれへんで、一回要望とかお願いとか、試算ぐらいは、補助金の色とか、その辺は考えていただきたいと思うんですけど、財政課長、最後にいかがですか。

○議長（小林 弘君）財政課長。

○財政課長（三浦康広君）議員のご質問にお答えします。

当然、政策としましてやるという検討に入るということでありましたら、財源を探す、何らかの方法で取ってくるというところは大事やと思いますので、その辺につきましては決定次第で検討できるかなというふうには考えております。

以上です。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君。

○12番（堀内和久君）僕は1時間使い切りなので、総合政策部長、一おっちゃんのしょうもない意見なんですけど、夢を語っていき

ましようよ。何か一言下さい。終わります。

○議長（小林 弘君）総合政策部長。

○総合政策部長（土井加奈子君）冒頭に申そうと思っておったんですけど、夢を持ち続けるということは公私どちらでも大事なことで、必要なことではあると思います。しかしながら、この職に就いていると、やはり地に足をつけてというところはそこを一番しっかりと、先を見据えてしていかなあかんと思っています。今回この件で、いろいろすり合わせのときに議員とお話できてよかったと思っています。また議論できたらと思います。ありがとうございます。

○議長（小林 弘君）12番 堀内君の一般質問は終わりました。

この際、午後1時まで休憩をいたします。

（午前11時30分 休憩）

---